



電気学会 IEEJ プロフェッショナル アクションレポート  
2009年8月・第11号

IEEJ プロフェッショナルニュース

ニュース1. IEEJ プロフェッショナル第14回懇談会 (メモ)

1. 日時 平成21年5月19日(火) 15時～17時15分
2. 場所 電気学会会議室
3. 出席者 12名
4. 議事
  4. 1 川崎邦弘((財)鉄道総研通信室長)氏講演
    - (1) 「電気鉄道とEMC－鉄道用EMC国際規格の概要と・動向と電波雑音に関する鉄道総研の取組」のタイトルで講演。
    - (2) EMC・EMI・電波雑音、主な放射源(直流鉄道)、電気鉄道におけるEMCの分類と規格、日本の鉄道におけるEMC、EMC規格の意義、IECのEMCに関する審議体制、鉄道用EMC規格IEC62236の構成、高速走行試験の限度値、EMC管理、電気鉄道による電波雑音の測定評価、高架鉄道の場合の測定法、測定系の事例、測定例、電波雑音強度のシミュレーション手法等であった。
    - (3) 外国の規格に対する力の入れ方は半端ではない。しかしながら、疲れてきている。人材の育成が重要である。外国で仕事をするには他の国の人と仲良くなれることが重要である。実証データについては抵抗しない。外国ではもっとよくなるという説明は納得する。日本は過敏で測定すら公開できない。EUでは市民の健康をベースで判断する。日本では死亡の確率を出すと大変な騒ぎになる。等の意見交換があった。
  4. 2 奥村哲郎氏資料「技術伝承について－実践経験、問題点、提案」
    - (1) 問題点－送電線設備についてはメーカーの協力体制が落ち、ユーザはコンサルティング能力が落ちている。過去の技術開発の記録資料が散逸している。動画記録なども散逸している。再教育で電算化されたり、標準化された技術をきちんと手法や限界まで理解させるまでに至っていない。現場経験も万全でない。教材も万全でない。
    - (2) 提案－コンサルティング組織を学会主導で立ち上げる。各電力や工事会社、専門学校、大学などへ対価を取って教育(講義および実地研修)の実施、教材の販売をする。メンバーはIEEJプロフェッショナルとそれが推薦するメンバーとする。
    - (3) 意見－大きな企業は必要性があるか。中小企業はあるかも知れない。必要性はあると思うが、体系的なプログラムができるかどうか。
    - (4) 次回以降、書面で意見を出すこととなった。



#### 4. 3プロジェクトの進捗状況報告

- (1) 4月と5月に群馬高専で寄付講座を実施した。(植田)
- (2) 4月日刊工業新聞社でセミナーを行った。(大島)
- (3) 東京高専で上期15回寄付講座を行う。(寺嶋)
- (4) 7月新潟大学で送配電講義を行う。(関井)
- (5) 9月浜松でパワエレの研修を行う。IEEJプロフェッショナルは4~5名である。

#### 4. 5今後の進め方

- (1) 7月21日は第1候補として東京都産技研、第2候補として東京電力内の見学会とする。
- (1) (2) 8月25日は鉄鋼会館で松瀬貢規氏講演と懇親会を実施する。

### ニュース2. IEEJプロフェッショナル第15回懇談会(メモ)

1. 日時 平成21年6月17日(水) 15時~17時30分

2. 場所 電気学会会議室  
出席者 13名

#### 3. 議事

##### 3. 1 寺嶋正之氏講演

- (1) 「産業車両用電気駆動システム」のタイトルで講演。
- (2) 産業車両の種類、産業車両用コントローラ適用分野、フォークリフトの国内販売実績、フォークリフト生産実績、バッテリー式フォークリフトの歴史概観、直流モータ時代の改善改良、DCモータ市場で使用されたモータの調査、誘導機ベクトル制御による交流化、交流化による車輛の変化、フォークリフトバッテリー車の今後、フォークリフトメーカー各社ハイブリッド車の取り組み、駆動モータの検討、フォークリフト用モータのPM化等の講演であった。
- (3) インホイールモータはフォークリフトではない。回生は15%~20%位と思う。交流化するとエンジン式に比べてコストが50~60万位高い。2000年から交流化が始まったが、交流と直流の比率は2:1程度である。ゴルフカートは直流のままである。メンテナンスは年に1回。等の意見交換があった。

#### 4. 2プロジェクトの進捗状況報告

- (1) 武蔵村山市中学校理科支援は平成21年度も実施する。第二中学校及び第五中学校を対象に80時間の支援、キャリア教育については全市立中学校を対象に1単位時間の講演会を実施する。(武子)
- (2) 5月に開催された日刊工業新聞のセミナーは5名の参加者であった。(武子)

#### 4. 3今後の進め方

- ・ (1) 7月21日は東京都産技研で行うが、進め方については東京都産技研と相談する。



### ニュース 3. IEEJプロフェッショナル第16回懇談会（メモ）

1. 日時 平成21年7月21日（水）15時～17時
2. 場所 東京都産業技術研究センター会議室
3. 出席者 8名
4. 議事
  4. 1 東京都産業技術研究センターとの打合せ結果が報告された。
    - (1) 平成22年1月20日（水）or1月27日（水）に講演会を行う。
    - (2) 電気学会は聴講者を大勢集めるようなテーマと講演者にして欲しいとの要望があった。
    - (3) 省エネルギーのタイトルで講演者を一ヶ月以内に決定し、東京都産業技術研究センターに連絡する。
  4. 2 総会の進め方
    - (1) 7月21日現在39名の出席予定である。
    - (2) 総会議事進行について提案され、これまで功労のあった深尾元会長に一言ご挨拶など話をさせていただく事となった。
    - (3) 武蔵村山市教育委員会及び電気学会総務企画担当（副会長、理事）も招待した方がいいとの意見があった。
  4. 3 IEEJプロフェッショナル・リソースデータベースの作成  
植田正紀氏より「IEEJプロフェッショナル・リソースデータベースの作成」について提案があった。これは「IEEJプロフェッショナル名簿」の拡張版とし、対外的売り込みの出来る内容を、自己申告により追加しようとするものである。9月懇談会でデモを行う。
5. IEEJプロフェッショナル第1回総会
  - (1) 日時 平成21年8月25日（火）16時～19時
  - (2) 場所 鉄鋼会館8階会議室
  - (3) 講演 電気学会会長松瀬貢規氏（16時～17時）
  - (4) 懇親会（17時～19時）
6. 第17回懇談会
  - (1) 日時 平成21年9月15日（火）15時～17時
  - (2) 場所 電気学会会議室
  - (3) 講演 森末道忠氏（超電導のエレクトロニクス応用）
  - (4) その他
7. 第18回懇談会
  - (1) 日時 平成21年10月21日（水）15時～17時
  - (2) 場所 電気学会会議室
  - (3) 講演 武子雅一氏「理科支援実験（仮）」
  - (4) その他



#### 8. 第19回懇談会（見学会）

- (1) 日時 平成21年11月17日（水）15時～17時
- (2) 場所 東電（未定）
- (3) 見学

#### 事務局からのお知らせ

IEEJプロフェッショナルに役に立つセミナー情報や大学・学校・教育委員会などでIEEJプロフェッショナルの人たちが活躍できるお話がありましたらお知らせ下さい。

連絡先：社団法人電気学会 技術者教育課：吉澤 純一

E-mail：yoshizawa@iee.or.jp 電話：03-3221-3710